

QuickTox アフラトキシン テスト

アフラトキシンは主に熱帯地方に生育するカビ *Aspergillus flavus* などにより産生されるマイコトキシン（カビ毒）の一種であり、発ガン性を有することから、食品・飼料への汚染について世界的に監視・規制されています。日本においても食品中で総アフラトキシン濃度 10ppb、配合飼料中で 10~20ppb と上限基準値が通知されています。

QuickTox アフラトキシンキットは、遺伝子組換え作物 GMO のテストで世界的に著名な EnviroLogix 社が開発したラテラルフローテストで、コーン中のアフラトキシンを目視により 10ppb および 20ppb 基準でスクリーニング判定ができます。

ラテラルフローテストでは、専用のスキャナリーダーシステムを用いてアフラトキシン、オクラトキシン、フモニシン、DON、ゼアラレノン定量できる QuickScan システムも用意されています。

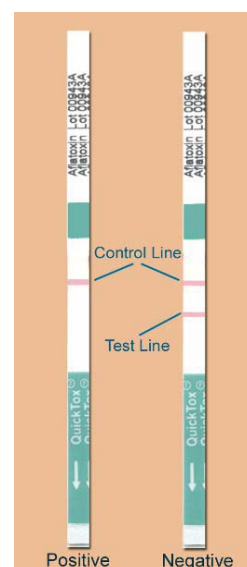
（製造：EnviroLogix Inc. 米国）

ver.AS101BG-12-17-06 (rev.2017/07)

商品名	QuickTox™ アフラトキシン テスト 50 本 (3245EL1021)
価格	税別 43,000 円/キット
保管条件	冷蔵 2~8°C、湿気厳禁
製品内容	ラテラルフローストリップ 50 本（耐湿容器） 反応容器 50 個、試料用スポイト 50 個
目的・用途	トウモロコシ中のアフラトキシンのスクリーニング検出
原理・性能	ラテラルフロー（イムノクロマト）法 10ppb ないし 20ppb
前処理	20 メッシュ相当まで破碎・均一化した試料に対し 2 倍量の 70%メタノール水（あるいは 50%エタノール水）を加え高速シェーカーで 1 分間激しく振とうし、静置、上澄みを試料液とする。
操作	ラテラルフローストリップの操作（室温に戻してから必要なストリップをとる） ①反応容器に水と試料抽出液をそれぞれ 150μL ずつ加える。 ②カップ内をよく混ぜてから、ストリップ下端を浸す。 ③5 分後にテストラインの呈色を目視で確認する。 テストラインが呈色しない=20ppb 超の陽性と判断。※
他に必要な試薬器材	水、ミキサー・ミル 1 式、マイクロピペット フタ付きジャー、タイマー



陽性 陰性



※Test と Control のライン 2 本が明瞭に現れれば 10ppb 未満。この場合約 2~3 分で判明します。

本品は食品衛生・環境等に関わる自主検査用キットであり、臨床検査等診断に用いることはできません。必ず取扱説明書等をご頂戴し、使用・保管・廃棄等の方法には充分ご注意ください。価格・仕様など、内容を予告無く変更する場合があります。